

彼方「あなた」

校長通信

H24.4.11

Vol.4

【平成二十四年度第六十五回入学式 式辞】

百五十七名の新入生の皆さん！湖北中学校への入学おめでとうございます！保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。

また、ご多用中にもかかわらず本日ご臨席を賜りました中村準教育長を始めとするご来賓も皆様には心より感謝申し上げます。

さて、新入生の皆さん、入学式のこの校長式辞は、私が皆さんと一緒に作る中学校で最初の授業です。これから「人としての生き方」について沢山考え、勉強していきたいと思えます。

そこで、みなさんに送る最初のテーマは「挑戦」です。

こんな話を聞いたことがあります。アフリカの小さな国の小さな村がいつも干ばつで苦しんでいました。その村の祈禱師はいつも、みんなの笑顔を見たくて雨乞いをするのです。真剣に祈り、踊るのです。すると必ず雨が降るのです。日本の気象学者がその噂を聞きつけ、アフリカの小さな国の小さな村を訪ね、その祈禱師を調べたのです。噂通りその祈禱師が必死に祈り、踊り続けると必ず雨が降り出すのです。何度調べても必ず降るのです。そんなことを考えられますか？でも本当なのです。その理由

は・・・？

祈禱師は雨が降るまで真剣に踊り続けるだけなのです。一ヶ月でも二ヶ月でも村の人たちの笑顔のために祈り続けるだけなのです。

「挑戦」というのは、あきらめずに自分の限界を超えて行動することです。しかもアフリカの祈禱師が周囲の人の笑顔を優先したように、みなさんにも回りの人たちの笑顔のために自分でできることを最後までやり抜き、「挑戦」して欲しいのです。何でもいいから、いろいろなことに「挑戦」することはありませぬ。誰かのために何ができるかをよく考えて行動し続けて欲しいのです。

東日本大震災で被災したお年寄りの背中を一生懸命さすり、「大丈夫！僕たちの世代が絶対に元通りにするから！」と熱く語っていた千葉の高校生のように、石巻の小学校低学年の女の子が山の上に避難しているお年寄りお弁当を届けていたように・・・。

大人になるといふのは。実は、こういう行為を沢山経験し、誰かのために自分でできることを一生懸命考え、行動に移せるようになるということです。

湖北中学校の学校教育目標は、「自主貢献」です。「自主」は自分から、「貢献」は人のためになるという意味です。「自主的に行動し、助け合える生徒」になって欲しいという強い願いです。

そして皆さんが大人になり、湖北中学校のことを語り合うとき、「通うだけで楽しくってしかたない学校だったね！」「通うだけでみんなが助け合える学校だったね！」と言えるそんな語り継がれる「伝説の学校」にしたいのです。

中学校生活は僅か三年です。何もなくてもあつという間に過ぎてしまいます。真剣に取り組んでも同じです。どうせなら本気ですごい学校を作ってみることに「挑戦」してみませんか？

自分の役割と正面から向き合い、本気で取り組んでみる。周囲の人の笑顔は何よりも優先しながら自分の置かれた環境でベストを尽くす！学校にいるみんなが幸せを感じられる笑顔満載の学校をつくるのです！

みなさんならここにいらっしゃる先輩達と一緒に本気で「伝説の学校」を作り上げていくような気がしてなりません。

最後になりますが、会場の保護者の皆さん、ご臨席いただいたご来賓の皆さん、地域の皆さん！この新入生のために、在校生のために、湖北中を「伝説の学校」にするために本気でお力添えを頂きますように心よりお願い申し上げます。

平成二十四年 四月九日

我孫子市立湖北中学校 校長 田中 聡